

でんでんくん



でんでんくん



きぬたくん



つちこちゃん

No.3 令和3年6月29日 発行:きこえとことば支援センター（秋田県立聴覚支援学校内）

「言葉の力」をのばす指導のポイント ～展開場面と展開例～

学習内容の理解に大きく影響する「言葉の力」。「伝えあう力」「論理的に考える力」「書き表し、書かれたものを読み取る力」などは学習の成果に大きく影響します。「言葉の力」は学習活動を支える土台です。自立活動の時間で取り上げる、他の教科等では常時配慮することを意識するなど、実態に応じた指導が大切になります。

☆展開場面の例

- 1 言葉を使うことが必要な場面や 児童の心が動いたときに その場で!
※学年が上がっても欠かせない指導です。
- 2 行事や季節の変化 身の回りの出来事やニュース等 折々の話題に沿って展開!
※タイムリーに取り上げることで話し言葉（聞く、話す力）に加え、興味、関心の広がりも期待できます

☆指導事例紹介〔 題材:歯科検診 対象児童:小6を想定 領域:自立活動 〕



・導入のポイント:伝えたい気持ちになるよう「なにかな?」「知ってる!」等、気持ちを動かす働き掛けをする。

例:「シカって?」「昨日は、5年生が検診でした。6年生はいつ」など

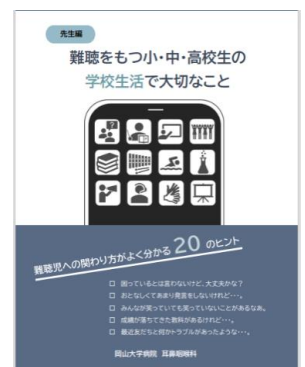
・展開のポイント:教師とやり取りしながら進める。分からない事柄を想定し視覚的なヒントを準備する。確認が必要な言葉は、板書したり、ノートに書いて読んだりする。主語を変えて文型の確認なども行う。保護者にも共有してもらうよう働き掛け、機会を捉えて話題にしてもらう。

例:検診を行う理由、検診前中後の気持ち、かかりつけの歯科医院について など

パンフレット紹介 「先生編 難聴をもつ小・中・高校生の学校生活で大切なこと」

岡山大学病院耳鼻咽喉科

「私たちが病院で診察するとき、難聴児に『何か困っていることがある?』という質問を投げ掛けると、「特にない」と答えることが多いです。各自の抱えている問題や悩みには差がありますが、難聴児たちが自己肯定感をもって「勉強って楽しい」「学校って楽しい」と思って過ごしてほしいと願っています。」
—パンフレットより抜粋—



授業、教科学習、友人関係など、子どもを取り巻く、いろいろな場面における「難聴児の声」が取り上げられていて、配慮・対応のヒントがイラストを交え、具体的に記載されています。医師、言語聴覚士の方々が、多くの人に関わり難聴児を支援していくことの大切さを思って編集したパンフレットです。「なるほど」とうなずくところがたくさんです。ぜひ一読ください。 ※パンフレット名でダウンロードできます。

☆夏の補聴器管理 ～ 汗・水、要注意です～

夏は汗や湿気、雨、水泳後の髪が濡れたままでの装用、高温になる場所に置いてしまうなど、補聴器や人工内耳（以下補聴器等）の故障リスクが多くなります。意識して補聴器等を管理して、故障を防ぎましょう。

防水カバーや布サックの使用も効果があります。濡れた際には補聴器を拭いて、電池を外し、乾燥ケースに入れて乾燥させましょう。電池ボックスの中も綿棒などで拭きます。就寝前は、乾燥剤を入れた保管ケースでの保管を心がけましょう。



なお、プール利用時等の補聴器管理については、乾燥ケースに入れて教室に置いたり、水泳袋に入れたりして保管しましょう。プールサイドは暑くなったり、水がかかる等の心配があったりするので注意しましょう。補聴器の管理について、聴覚障害支援ガイドの5ページに説明がありますのでご覧ください。

○水遊び、水泳授業での配慮点

補聴器等を外しているときの聞き取りは、装用時とは違って難しくなります。そのため、次のような配慮が必要です。

- ・前もって教室で話せることは話しておく。
- ・モデルや文字で示すなど視覚的な情報で指示や学習内容を伝える。
- ・合図について事前に児童と確認しておく。



☆幼児相談について

きこえとことば支援センターでは、幼児のきこえやきこえにくさによる言葉の発達について、幼児専門の担当者が教育相談をお受けしています。「言葉の発達が遅れているのはきこえからくるもの?」「就学予定の子どもがきこえにくいようだ」など、気になること、きこえにくさへの配慮等、事前にておきたい情報等がありましたら本校までご連絡ください。

☆研修会のお知らせ 下記研修会に関心のある方は、本校までご連絡ください。

聴覚障害教育担当者研修会

- ◇日時 8月18日(水) 9時30分～12時
 - ◇場所 秋田県立聴覚支援学校
 - ◇内容 「聴覚障害に配慮した各教科等の指導」「聴覚障害教員の体験談から学ぶ」等
- ※難聴児童生徒在籍小・中学校へは、市教委を通じて案内文書を送付しています。締め切りは7月21日(水)です。
- ※新型コロナウイルスの感染状況により、オンライン研修となります。

手話研修会(1回目)

- ◇日時 7月7日(水) 15時50分～16時30分
 - ◇場所 秋田県立聴覚支援学校
 - ◇内容 「身近な日常生活や学校生活及び行事等に関する手話表現」等
- ※今年度は全4回の予定です。
- ※関係各校へは案内文書を送付しています。
- ※新型コロナウイルスの感染状況により中止になる場合があります。



☆難聴児童の交流会について☆

- 【南の交流会】 新型コロナ感染症感染防止のために延期となっていましたが、12月2日(木)に実施します。対象地区の方には、在籍校を通じて参加申し込み書を改めて送付します。
- 【難聴児童交流会】 7月10日(土)に聴覚支援学校を会場に実施予定です。対象地区の方には参加申し込み書を送付しました。補聴相談会は今年度も感染防止のため中止とします。

きこえとことば支援センター(秋田県立聴覚支援学校内)【直通携帯電話】090-8784-6302

〒010-1409 秋田市南ヶ丘一丁目1番1号【聴覚支援学校】TEL:018-889-8572 FAX:018-889-8575

E-mail: chokaku-s_shien@akita-pref.ed.jp